

## 高次脳機能障害専門研修

### 名古屋リハにおける援助の考え方について学びました！

10月2日（月）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターから3名の講師をお招きし、「高次脳機能障害のある人の地域生活 ～生活を支える基本と社会的行動障害への対応～」をテーマに講義、障害の疑似体験、社会的行動障害への対応演習からなる研修を開催しました。



参加者は医療や福祉、介護領域等の支援者85名。深川和利医師の、「高次脳機能障害の課題は“できなくなった”ことではなく、“できない自分”に気づきにくいこと。“できない”ことに気づけるような訓練や体験が不可欠で、代償手段や社会的スキルを学び、必要な環境整備を行うことで高次脳機能障害の方も社会参加、社会適応はできる！」、「本人の努力や訓練だけでは問題は解決しない。支援者も“環境”要因の1つという視点を忘れずに」とのお話は、私たち支援する者がきちんと踏まえておくべきことと認識を深めました。また社会的行動障害でキレやすい方への対応（グループワーク&ロールプレイ）では、「クールダウンの後に、いかに本人が自身の課題に気づけるように働きかけるか」、職員の方の自演DVDを参考に具体的に学びました。全国的に、かなり早くから高次脳機能障害の方の支援に取り組まれている名古屋リハの援助方法、私たちも参考にさせていただきたいと思えます。

京都市高次脳機能障害者支援センターでは毎年、テーマを絞った支援者向け専門研修を企画しています。どなたでも参加できる入門講座等とあわせて、是非ご活用くださいね。

## 「ほほえみ広場2017」で皆さまのロコモ度をチェック！

10月21日（土）に「ほほえみ広場2017」に参加しました。当日は台風の影響を受けて大雨でしたが、ステージで医師やリハビリ専門職員がロコモ度チェックによる運動機能テストと体脂肪率測定を行いました。



また、測定後に健康維持や機能向上等のご相談をお伺いし、日常生活で心掛けていただくことなどをアドバイスしました。「おやつを控えて運動を心掛けてみる」と生活習慣を見直すきっかけになったのではないのでしょうか。

大変な雨の中、お立ち寄りいただきました皆さま、ありがとうございました。

★編集後記★ 昨年度から出展している「ほほえみ広場」、今年は「ぜひ生演奏でロコモ体操をしていただきたい！」との思いを胸に、当センターの職員によって結成された「カエルバンド」が夜な夜な汗と涙（？）の練習に励んでいたのですが…。まさかの大雨で中止になりました（涙）。

「カエルバンド」の出張演奏は残念ながらできませんが、当センターの看板事業「お出かけ講座」では、専門職等がどんどん「お出かけ」しますので、ぜひご利用ください！（詳しくは第7号（2017年5月発行）を御覧ください。）

【リハエール】第9号 2017年11月発行  
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター  
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地  
電話 075(823)1650(代表)  
FAX 075(842)1545  
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp  
京都市印刷物 第294759号

京都市地域リハ